美瑛の農業2026（令和8年）

1　地勢と気象

美瑛町の地勢は、おおむね波状丘陵で、その丘陵をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その流域が水田となっている。丘陵部には畑が広がり、東部には大雪山系が控えているため、独特の景観を呈している。

気象は寒暖の差が激しい内陸性の気候で、農耕期（5～9月）の積算温度は約2,819℃、降水量は約593mmである。

2　耕地面積

美瑛町の耕地面積は、12,600haであり、田2,200ha、普通畑10,400haとなっている。

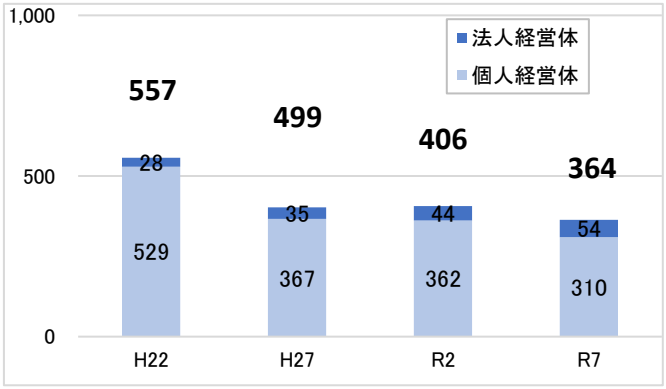
耕地面積は、町の総土地面積67,678haの約2割を占めている。農地のうち約4割が、中山間直接支払制度の対象農地であり、傾斜地で構成される多くの農地は、農作業の効率化を阻んでいる。

3　農業経営体数

昭和30年に2,419経営体だった農業経営体数は昭和60年には1,059経営体となった。その後も経営体の減少は続いているが、法人経営体については増加傾向にある。

新規就農について、令和7年の新規就農者数は3名であった。美瑛町では、美瑛町農業担い手研修センターにて町内での新規就農を目指す方々を対象に2年間の実践研修を行うなど、新規就農者の確保を目指している。

【農業経営体数の推移】

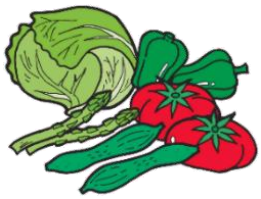


資料：「農林業センサス」「北海道農業基本調査」

【新規就農者数の推移】　(単位：人)

R4	R5	R6	R7
3	1	1	3

資料：美瑛町調べ

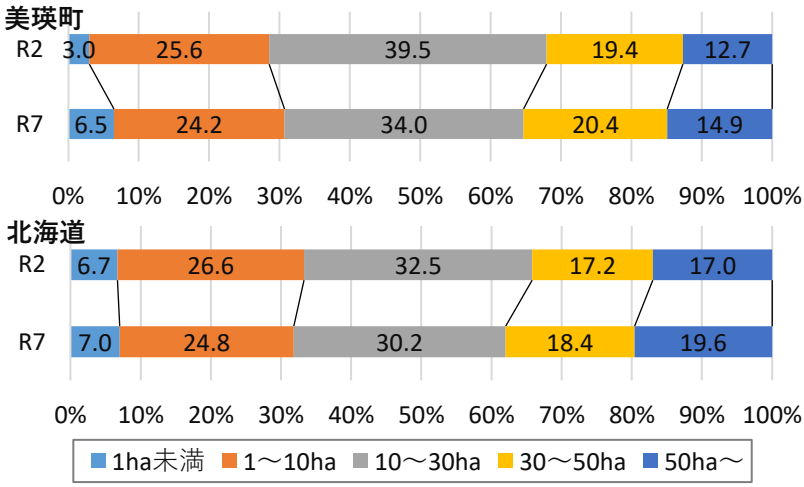


4　経営規模

美瑛町の1戸あたりの平均経営耕地面積は32.2haで、全道平均の33.6haより小さい。特に10～30haの階層が占める割合は34.0%と、中規模農家が多いことがわかる。

農家戸数は減少している一方で、大規模経営の農家の割合は増える傾向にあり、離農等に伴う農地の集積が進んでいる状況にある。

【美瑛町・北海道における経営規模別農家戸数割合の比較】



資料：農林水産省「2020農林業センサス」「2025農林業センサス」

5　経営形態

経営形態別農家戸数は、複合経営が最も多く133戸（37.3%）、続いて単一経営が129戸（36.1%）、準単一複合経営が95戸（26.6%）となっている。

稲作や施設野菜を中心とした経営体以外の畑作中心の経営体については、毎年多くの種類の作付けを行い、輪作を行なっている傾向が高い。

【経営形態別農家戸数】　(単位：戸)

	販売農家戸数	複合経営	準単一複合経営	単一経営
美瑛町	357	133	95	129
北海道	28,211	6,390	5,906	15,915

※複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%未満の経営体
準単一複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%以上80%未満の経営体
単一経営：主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体

	単一経営の内訳													
	稲作	麦類作	雑穀・イモ類・豆類作	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	その他の作物	花き花木	酪農	肉牛	養豚	養鶏	その他の畜産
美瑛町	28	6	13	1	6	40	1	5	0	21	2	4	1	1
北海道	4,111	376	1,044	73	1,660	1,476	501	643	325	4,032	935	101	73	564

資料：「2025農林業センサス」

6　農業生産

令和7年の作付面積は、小麦が約3,263haと最も多く、次いで飼料用作物、てん菜、水稲、馬鈴薯、大豆の順となっている。生産額については、全体として155億円を上回った。

美瑛町では地力の向上や病気リスクの低減を目的に、小麦、てん菜、豆類、馬鈴薯等を主体とした輪作体系の確立を目指しており、同じほ場でも毎年異なった作物が育てられ、見た目の色合いも様々であることから、美瑛独特の『パッチワーク』と表現される丘の景観を作り出している。

作物	令和7年			令和6年		
	面積	生産量	生産額	面積	生産量	生産額
	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)
水稲	852.1	73,281俵	2,135,543	857	82,129俵	1,527,599
小麦	3,263.5	273,610俵	969,639	3,295	285,248俵	1,078,481
大豆	759.2	35,710俵	407,886	688	32,738俵	411,465
豆採種	122.2	7,052俵	155,025	124	6,820俵	163,680
その他豆類	253.6	9,764俵	244,845	279	11,645俵	254,303
てん菜	920.9	66,222 t	970,964	918	71,628 t	939,469
馬鈴薯	709.4	27,139 t	1,343,321	726.9	29,201 t	1,359,569
スイートコーン	300	3,208 t	186,947	310.4	3,927 t	221,874
かぼちゃ	106.1	1,471 t	139,569	103.1	1,280 t	115,363
トマト	37.4	4,752 t	1,809,102	38.2	5,086 t	1,828,990
アスパラガス	96.1	142 t	182,186	94.1	120 t	147,808
たまねぎ	120	3,600 t	576,000	109.4	5,471 t	437,640
ブロッコリー	55.2	402 t	180,096	62	523 t	224,572
いんげん	37.3	263 t	44,692	36.2	225 t	37,499
飼料用作物	2,407	–	–	2,744	–	–
その他	–	–	410,663	–	–	332,877
耕種計	10,040	–	9,756,478	10,385.3	–	9,081,189
肉畜	–	24,601頭	1,951,679	–	24,942頭	1,678,307
生乳	–	34,486 t	4,086,591	–	32,977 t	3,777,367
畜産計	–	–	6,038,270	–	–	5,455,674
合計	–	–	15,794,748	–	–	14,536,863

資料：R6･R7区域内農業生産実績（JA調べ）

（2026.6改訂）